

報道関係者各位におかれましては、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されることがないように、格段のご配慮をお願いします。

報道関係者各位

平成30年10月 3日
福祉保健部健康増進課
衛生指導監 内田 裕之
電話 055-223-1494
FAX 055-223-1499

風しんの患者届出数が増加しています。（注意喚起）

風しんの患者届出数が増加しています。特に東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県及び愛知県で届出数の増加が続いております。

県内でも、9月末から3例の届出があり、これから患者が増加する可能性がありますので、情報提供します。広く県民への注意喚起をお願いします。

1 風しん患者発生状況

年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
全国	303	147	87	378	2,386	14,344	319	163	126	91	770
山梨県	1	0	0	0	11	28	1	0	1	0	4

: 全国は9月23日現在 山梨県は10月3日現在

1-1 山梨県内の患者発生状況

確定日	性別	年代	届出保健所
8月14日	男性	30	中北
9月30日	男性	30	中北
10月1日	女性	30	中北
10月3日	男性	30	中北

中北保健所は甲府市、中央市、甲斐市、昭和町を管轄しています。

2 風しんとは

- ・原因: 風しんウイルスの感染
- ・感染方法: 患者の咳やくしゃみの飛沫(しぶき)により感染
- ・主な症状: 発熱、発疹、リンパ節の腫れなど
- ・潜伏期間(感染してから症状が出るまでの期間): 2～3週間程度
- ・他へ感染する期間: 発しんが出現する7日前から出現後7日の間

3 風しんにかからないために（予防方法）

- ・ 予防接種がとても有効です。
- ・ 妊娠を希望される方や妊婦の同居家族（夫や子供など）はかかりつけ医に相談し、抗体検査や任意で予防接種を受けることをご検討下さい。
- ・ 30代から50代の男性は特に風しんの免疫が不十分な世代と言われております。この世代の方は、予防接種をご検討下さい。
- ・ 定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間）は確実に予防接種を受けましょう。
- ・ ご不明な点やご相談は、お住まいの地域の保健所にご連絡下さい。

4 妊婦や妊娠の可能性のある方へ

- ・ 風しんに対する免疫が不十分な方が、妊娠の初期（約20週まで）に風しんに感染すると出生児に白内障、先天性心疾患、難聴等の症状が生じることがあります。（先天性風しん症候群）
- ・ 妊婦は予防接種が受けられないため、妊娠初期の方は、なるべく人混みに出かけるのを避けましょう。

5 風しんを疑う場合

- ・ 発熱や発しん等の症状から風しんが疑われる場合は、必ず事前に医療機関に連絡の上、速やかに受診してください。
- ・ 受診の際は、マスクを着用し、公共交通機関等の利用は避けてください。

6 風しん抗体検査について

県では、妊娠を希望する女性（配偶者、同居者を含む）、抗体価の低い妊婦の配偶者を対象に、保健所（峡北支所を含む）において、無料の抗体検査を実施しています。【予約制】